

第6図

ないかと考えた。

Vseksviatsky は、今までに知られた数個の大彗星 (1744, 1858IV, 1910 I, ムルコス等) に見られたシンクロンのすじを検討して、持続時間の短いこと、配列に規

則性のあること、方向が理論の示す方向と一致しないこと、すじに2重構造の見られることから、核から不規則に放出されたダストで生じたとは思われず、尾の部分に何か電磁的な力が作用していると考えねばならぬとしている。以上、ダストの尾に関する研究のいくつかを記したが、状況は輪郭が知られた段階で、未知の事が多い。光電測光や写真観測は、精力的に続けられねばならないと考えている。

(210 頁よりつづく)

それでは彗星と小惑星の区別はどういうことになるかというと、この点でも Marsden (Astron. J., 75, 206, 1970) は次のような点から小惑星と木星族彗星との違いを明らかにしている。小惑星は木星と 1.1 天文単位以内まで近づくことはないのである。トロヤ群の小惑星でも、木星に軌道の近いテュール、ヒルダ群の小惑星でも、みなこのような性質を持っている。このことについてはここではあまりくわしくふれない。

一方、木星族彗星は 500 年間位の間には必ず木星に 1 天文単位以内に近づいている。これが大きな違いであり、太陽系内の小天体の起源を解明するための重大な点だが、ここにありそうである。 (古在由秀)

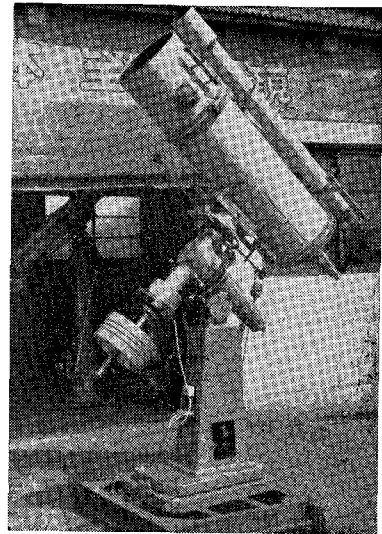
## 西村製の反射望遠鏡

- 30cm “A” カセグレン・ニュートン兼用  
10cm 屈折望遠鏡 (f/15)
- “B” カセグレン焦点  
15cm 屈折望遠鏡 (f/12)
- 40cm “A” カセグレン・ニュートン兼用  
15cm 屈折望遠鏡 (f/15)
- “B” カセグレン焦点  
20cm 屈折望遠鏡 (f/12)

株式会社 西村製作所

京都市左京区吉田二本松町27  
電話 (771) 1570, (691) 9589

カタログ実費90円郵券同封



30 cm 反射望遠鏡

ニュートン・カセグレン兼用